

きこえとことばの教室だより



武蔵村山市立第九小学校長 五十嵐 誠一
平成28年6月24日 NO.2 きこえとことばの教室

梅雨に入り、雨に濡れるアジサイが美しい季節になりました。ふと、アジサイってどこの国の花なのか気になって調べたところ、アジサイの原産国は、実は日本なのだそうです。日本にあった「ガクアジサイ」が、中国へ渡りシルクロードを通して、ヨーロッパに伝わり人気が出たそうです。品種改良され、逆輸入されたのが、今の季節によく目にするアジサイなのだそうです。通級の児童と共に、ふとした疑問を調べて毎日楽しく勉強していきたいと思えます。

きこえとことばの市内相談が終了しました

5月28日～6月10日まで行われた市内相談では、聴力検査を62名の児童に実施し、29名に耳鼻科受診をお勧めし、33名が問題なしという結果でした。（その他、既に耳鼻科を受診された方、当教室の定期的な検査をお勧めした方もいました。）

きこえとことばの相談では、17名の申し込みがあり相談を行った結果、11名の方に通級、6名の方に相談継続をお勧めしました。

さくらんぼの会のお知らせ

サンドイッチを作ろう！

日時：7月8日（金）

午後3時15分～4時45分

場所：九小 家庭科室

持ち物：上履き・水筒・エプロン・

三角巾・手ふきタオル

材料費：1人100円程度



あたらしい友達が増えました！

6月から新しく入級した児童が、5名増え（1年生3名、3年生1名、4年生1名）益々賑やかな学級になりました！

さくらんぼの会やグループ活動で、交流をしていければと考えています。

グループ活動について

1対1の指導を基本としていますが、必要に応じてグループ活動も行っています。

<コミュニケーショングループ>

◇目的

- ・友達への興味や関心を広げ、進んで質問したり、相談したりできるようにする。
- ・自分の経験や考えなど、自信をもって話すことができるようにする。
- ・友達と関わり合いながらゲームや活動を楽しめるようにする。

◇指導回数

- ・年5回

◇主な内容

- ・スピーチ
- ・コミュニケーションを促進するゲーム 等

<ことばグループ>

◇目的

- ・他の吃音の児童との交流を通して、安心感や仲間意識を育てる。
- ・吃音についての正しい知識を学ぶ。
- ・吃音について振り返ったり話したりすることで吃音に対する否定的感情を予防する。

◇指導回数

- ・年5回

◇主な内容

- ・吃音〇×クイズ
- ・ぼく・わたしの吃音お悩み相談会
- ・スポーツ、調理 等



特集 難聴について



子供の顔を見て、やや大きめの声で、

はっきりと短い語で話す

聴力低下のある子供は、聞こえにくさを補うため、口の動きを見て話の内容を理解しようとしています。板書をしながら話すと聞き取れないことが多いようです。声の大きさや話し方、話速を工夫してください。

周囲への理解を図る

聞こえにくさは目に見えないことなので、周囲からの理解が得られにくい場合があります。難聴児が感じる聞こえづらさや補聴器の役割や大切さなどを説明してあげてください。

今回は、**難聴の子供**について、学級や家庭でどのような配慮をしていただきたいかお知らせします。御参考になれば幸いです。

活動が目で見えるような

指示や教材の工夫を

音声だけの聞き取りで内容を理解することが難しい難聴児の場合は、視覚的な指示や視覚的な情報の提示が有効です。何をするのか分からないと、「どうせ分からない」と学習意欲も低下してしまいます。行うことを板書したり、指名は2番目以降にしたり、子供に見通しをもたせるような工夫が学習や活動の理解につながります。

座席の位置は、中央前から2~3番目

周囲の子供たちの動きを見て行動することも多いため、先生の指示がよく分かり、前や隣の子供の動きを参考にできる位置がよいようです。

